※令和４年度以降入学生用

学校番号	309

令和５年度　地理歴史科

教科	地歴科	科目	世界史探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「詳説世界史　世界史探究」　（山川出版社）						
副教材等	「グローバルワイド　最新世界史図表」（第一学習社） 「世界史重要語句 Check List 2023」　（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２、３年の 2 年をかけて学ぶ教科です。予習（「Check List」で指定範囲に取り組む）・授業・復習（小テスト）のサイクルを大切に取り組んでください。時代や地域を行ったり来たりする点が、日本史と異なる点です。どの時代のどの地域を学んでいるのかを、常に意識することを大切にしてください。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	文明の成立と古代文明の特質	１　文明の誕生 ２　古代オリエント文明とその周辺 ３　南アジアの古代文明 ４　中国の古代文明 ５　南北アメリカ文明	a: 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。 オリエントの大半が乾燥地帯であること、そのなかで大河流域のメソポタミアとエジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。 南アジアが南北に大きく二分されること、それぞれの風土に適合した生活が古くから営まれていたことを理解している。 東アジア各地の風土が、それぞれの地で多様な生業とそれに基づく先史文化を生み出したこと、各地で人々の移動や交流がおこなわれたことを理解している。 南北に長く広がるアメリカ大陸の各地で、それぞれの地域の環境に適応した文化・文明が発展したことを理解している。 b: 壁画や粘土板などの資料をもとに、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し表現している。 ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ヴァルナ制やジャーティ集団の成立をもとに、アーリヤ人社会に富や地位の差が生まれていった背景や原因を考察し表現している。 青銅器や獣骨など考古学的資料や『春秋左氏伝』などの資料をもとに、当時の政治や支配のあり方を多面的・多角的に考察し表現し	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	グループワーク ワークシート 小テスト 提出物

※令和４年度以降入学生用

			ている。 南北アメリカ文明に共通する特徴、とくにユーラシアやアフリカの古代文明とは異なるものを多面的･多角的に考察し表現している。 c：文明の誕生について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 オリエント文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 南アジアの古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 中国の古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 南北アメリカ文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

	中央ユーラシアと東アジア世界	1　中央ユーラシア 2　秦・漢帝国 3　中国の動乱と変容 4　東アジア文化圏の形成	a：中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活のありさまや、彼らの周辺の諸勢力との関係を理解している。 秦・漢といった統一国家の支配体制について、それまでの春秋・戦国時代と比較したうえで理解している。 魏晋南北朝の動乱がどのように展開したのかについて、遊牧民族との関わりもふまえたうえで理解している。 隋・唐の社会や制度、支配体制について、それまでの時代や他の地域との違いや、時期ごとの変化をふまえたうえで理解している。 b：風土を示す写真や『史記』匈奴列伝などの資料をもとに、中央ユーラシアの人々の動向が、世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 兵馬俑や青銅貨幣など考古学的資料や『塩鉄論』禁耕などの資料をもとに、秦・漢の時代に生じた地域間の結びつきの変化や、統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 「女史箴図」などの図像資料や『顔氏家訓』などの資料をもとに、魏晋南北朝時代の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 壁画などの図像資料や『旧唐書』輿服志などの資料をもとに、隋・唐の社会の特徴や近隣諸国への影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c：中央ユーラシアの動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト ワーク シート 定期考査	ワーク シート 定期考査	グループ ワーク ワーク シート 小テスト 提出物

※令和４年度以降入学生用

			秦・漢帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 魏晋南北朝の動乱について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 東アジア文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト ワーク シート 定期考査	ワーク シート 定期考査	グループ ワーク ワーク シート 小テスト 提出物
二学期	南アジア世界と東南アジア世界の展開	1　仏教の成立と 南アジアの統一国家 2　インド古典文化と ヒンドゥー教の定着 3　東南アジア世界の形成 と展開	a: 南アジアで生まれたさまざまな宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。 インド古典文化の黄金期とされるグプタ朝において、文化がどのように展開したのかを理解している。 東南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのかを理解している。 b: インド洋航海図（地図）や『エリュトゥラー海案内記』などの資料をもとに、インド洋交易の広がりを多面的・多角的に考察し表現している。 それまで仏教やジャイナ教が盛んだったことをふまえたうえで、ヒンドゥー教が社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現している。 東南アジアの風土や地形をふまえたうえで、南アジアや中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 南アジアで生まれた諸宗教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

			インド古典文化とヒンドゥー教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 東南アジアの諸国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト ワーク シート 定期考査	ワーク シート 定期考査	グループ ワーク ワーク シート 小テスト 提出物
	西アジアと地中海周辺の国家	1　イラン諸国家の興亡とイラン文明 2　ギリシア人の都市国家 3　ローマと地中海支配 4　キリスト教の成立と発展	a: アケメネス朝、パルティア、ササン朝といったイラン諸国家がそれぞれどのように興亡したのかを理解している。 アテネにおいてどのような経緯で民主政が出現したのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 ローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいたったのか、またローマ人の文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 勢力を拡大させていたキリスト教をローマ帝国がどのように利用しようとしたのかを理解している。 b: ササン朝と法隆寺の「獅子狩」図案などの資料をもとに、イラン文明が世界の諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 オストラコンなどの考古学的資料や「ペリクレスの演説」などの資料をもとに、ギリシアの人の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 モザイク画などの図像資料や「神皇アウグストゥス業績録」などの資料をもとに、ローマが地中海世界を統一し、それを維持できた理由を多面的・多角的に考察し表現している。			

※令和４年度以降入学生用

		1　アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2　ヨーロッパ世界の形成	当時の地中海世界の状況をふまえたうえで、キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現している。 てみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 古代ギリシアについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 古代ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 キリスト教の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 c: イラン文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究しようとしている。	小テスト ワーク シート 定期考査	ワーク シート 定期考査	グループ ワーク ワーク シート 小テスト 提出物
	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成		a:イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。 西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。 b: イスラーム政権の拡大を示す地図やアラベスクなどの図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 荘園の構造を示す概念図や『ガルベール＝ド＝ブリュージュの日記』などの資料をもとに、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。			

※令和４年度以降入学生用

			c：イスラーム教の成立と拡大について、自分が抱いた興味・関心や疑問，追究してみたいことなどを見いだして，見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト ワーク シート 定期考査	ワーク シート 定期考査	グループ ワーク ワーク シート 小テスト 提出物
	イスラーム教の伝播と西アジアの動向	1　イスラーム教の 諸地域への伝播 2　西アジアの動向	a：中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。 アッバース朝衰退後の西アジアにおいて、政治的統一は失われたが、経済・文化の交流を通じてイスラーム教徒（ムスリム）の連帯が維持されたことを理解している。 b：『トルコ語・アラビア語辞典』序文などの資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割を多面的・多角的に考察し表現している。 トルコ人の進出・十字軍遠征・モンゴル勢力の襲来といった外圧が、西アジアの社会へおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c：イスラーム教の各地への伝播について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 変動する西アジアの情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

	ヨーロッパ世界の変容と展開	1　西ヨーロッパの封建社会とその展開 2　東ヨーロッパ世界の展開 3　西ヨーロッパ世界の変容 4　西ヨーロッパの中世文化	a: 西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。 ビザンツ帝国の衰退の過程と、その周辺のスラヴ人および非スラヴ人の動向について理解している。 封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程および中央集権国家に向けた西ヨーロッパ各国の動きを理解している。 中世の西ヨーロッパの文化について、キリスト教の影響が大きかったことを理解している。 b: 中世都市の景観を示す図像資料や当時の交通路を示す地図をもとに、十字軍が西ヨーロッパに与えた影響を多面的･多角的に考察し表現している。 西ヨーロッパやイスラーム勢力との関係をふまえたうえで、ビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現している。 大憲章や金印勅書などの資料をもとに、中央集権国家の形成に向けた各国の動きの共通点と相違点を多面的･多角的に考察し表現している。 大聖堂の写真や大学の講義風景を描いた図像資料などをもとに、中世の西ヨーロッパの文化的な特徴を多面的･多角的に考察し表現している。 c: 中世の西ヨーロッパについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 東ヨーロッパ世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	グループワーク ワークシート 小テスト 提出物

※令和４年度以降入学生用

			西ヨーロッパ世界の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 中世の西ヨーロッパの文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。			
	東アジア世界の展開とモンゴル帝国	1　アジア諸地域の自立化と宋 2　モンゴルの大帝国	a：10～12世紀の東アジアの情勢について、東アジア内の交流と再編を中心に理解している。 モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。 b：「清明上河図」などの図像資料や荘綽『鷄肋編』などの資料をもとに、宋代の経済発展が社会に引きおこした変化を多面的・多角的に考察し表現している。 モンゴル帝国の最大領域を示す地図や「混一疆理歴代国都之図」などの図像資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現している。 c：10～12世紀の東アジアについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 モンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト ワーク シート 定期考査	ワーク シート 定期考査	グループ ワーク ワーク シート 小テスト 提出物

※令和４年度以降入学生用

	大交易・大交流の時代	1　アジア交易世界の興隆 2　ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	a:「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解している。 ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 b:「南蛮屏風」などの図像資料や鄭暁『今言』などの資料をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流を多面的・多角的に考察し表現している。 ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図やラス＝カサス『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などの資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c: アジア交易世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト ワーク シート 定期考査	ワーク シート 定期考査	グループ ワーク ワーク シート 小テスト 提出物

※令和４年度以降入学生用

	アジアの諸帝国の繁栄	1　オスマン帝国と サファヴィー朝 2　ムガル帝国の興隆 3　清代の中国と 隣接諸地域	a：オスマン帝国とサファヴィー朝がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのかを理解している。 ムガル帝国のおいて非イスラーム教徒に対する施策がどのように変化したのかを理解している。 清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解している。 b：オスマン帝国とサファヴィー朝を比較したうえで、それぞれの特徴や両者の関係を多面的･多角的に考察し表現している。 ムガル帝国時代の細密画などの図像資料や領域を示す地図などをもとに、ムガル帝国の興隆と衰退が南アジアに与えた影響を多面的･多角的に考察し表現している。 皇帝を描いた図像資料や『康熙帝伝』などの資料をもとに、清代の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違いを多面的･多角的に考察し表現している。 c：オスマン帝国とサファヴィー朝について、自分が抱いた興味・関心や疑問, 追究してみたいことなどを見いだして, 見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ムガル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 清代の中国と隣接諸地域について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト ワーク シート 定期考査	ワーク シート 定期考査	グループ ワーク ワーク シート 小テスト 提出物

※令和４年度以降入学生用

三学期	近世ヨーロッパ世界の動向	1　ルネサンス 2　宗教改革 3　主権国家体制の成立 4　オランダ・イギリス・フランスの台頭 5　北欧・東欧の動向 6　科学革命と啓蒙思想	a: ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。 新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布を理解している。 主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解している。 オランダ・イギリス・フランスがそれぞれ持った有利な点や課題を理解している。 北欧・東欧の各国の関係の推移や、それぞれにおける改革の内容を理解している。 科学革命と呼ばれる一連の変化がどのような背景で起こったのかを理解している。 b: 美術作品の図像などの資料をもとに、ルネサンスの新しさと古さを多面的･多角的に考察し表現している。 「九十五カ条の論題」や『キリスト者の自由』などの資料をもとに、宗教改革の動きが広まった要因を多面的･多角的に考察し表現している。 ウェストファリア条約の内容や当時の戦争の様子を示す図像資料をもとに、主権国家体制の成立と戦争の関係を多面的･多角的に考察し表現している。 覇権争いの経過や「権利の章典」などの資料をもとに、イギリスが覇権を握るに至った要因を多面的・多角的に考察し表現している。 ロシア・プロイセン・オーストリアの状況を比較したうえで、啓蒙専制主義による改革が各国におよぼした影響を多面的･多角的に考察し表現している。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	グループワーク ワークシート 小テスト 提出物

※令和４年度以降入学生用

			ルネサンスとの比較をふまえて、科学革命が社会に与えた影響を多面的･多角的に考察し表現している。 c: ルネサンスについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 宗教改革について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 主権国家体制の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 オランダ・イギリス・フランスの覇権争いについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 北欧・東欧の動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 科学革命と啓蒙思想について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度